

地域提案型

平成23年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	黒龍江省林甸県荒漠地対策事業
3. 事業の背景と必要性	黒龍江省西部に位置する林甸県は、嫩江沙地と称され、塩類集積によるアルカリ化が進み、荒漠化が拡大しているため、深刻な環境問題と貧困問題に直面している。堆肥の利用による低生産耕地の改良が環境と貧困問題の解決に不可欠である。そのため、中国において今まで取り組んできた日本の「熟成堆肥」の技術の効果が期待されている。
4. プロジェクト目標	低生産地耕地における土壌診断、堆肥塾生による土壌改良技術のガイドラインが整備される。
5. 対象地域	黒龍江省
6. 受益者層（人数規模）	林甸県の指導者及び永春酪農協同組合と農家
7. 活動及び期待される成果	<p><成果></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現状の問題点を把握・分析し、改善策が検討される。 2. 熟成堆肥による低生産力耕地の土壌簡易診断方法と土壌改良効果が現地において実証される。 3. 熟成堆肥による効率的な土壌改良技術のマニュアル化 4. 中国側が土壌診断を活用した土壌改良、堆肥管理技術を習得する。 <p><活動></p> <p>実証試験圃を設け、土壌診断技術・土壌改良技術のマニュアルを作る。</p>
8. 実施期間	2012年4月から2015年3月
9. 事業費概算額	23,277千円
10. 事業の実施体制	<p>現地実施体制：東北農業大学・大慶市林甸県・永春酪農組合による推進協議会</p> <p>国内支援体制：新潟大学農学部・新潟県農業総合研究所・新潟県国際課の3団体による推進協議会</p>
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	新潟県・黒龍江省林甸県荒漠地対策事業推進協議会
2. 対象国との関係、協力実績	新潟県と黒龍江省との友好県省関係を締結し、30年近くとなる。新潟大学と黒龍江大学、新潟大学農学部と東北農業大学とはそれぞれ学術交流協定を結んでいる。また、JICA草の根技術協力事業（地域提案型）、嫩江流域荒漠化地区生態林建設事業及び順利村モデル地区資源循環型技術協力事業に取り組んでいる。